

第48期（2022年4月期）
決算補足説明資料

ヤーマン株式会社

2022年6月14日

美しくを、変えていく。

美しさを実現するものづくり。

それを生むのは、尽きることのないアイデアと卓越した開発力です。

理想の美しさをかなえ、世界中に夢や驚きを届けるために、

私たちは新しい「美のカタチ」を追求し続けます。

業績ハイライト

《トピックス》

➤ **売上高 409億円**

➤ **営業利益 68億円、経常利益 80億円、純利益 55億円**

いずれも過去最高

経常利益の大幅増の要因は、直近の円安による為替差益

➤ **営業利益率 16.8%**

次期以降の売上伸長を目指して、広告宣伝・研究開発を中心に更に積極的な投資を行った

結果として目標とする20%には及ばなかったが、依然として非常に高い水準を維持

※製造業の平均は3.6%（2020年経産省企業活動基本調査）

(百万円)

	第44期 2017年5月1日 ～ 2018年4月30日	第45期 2018年5月1日 ～ 2019年4月30日	第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日	第47期 2020年5月1日 ～ 2021年4月30日	第48期 2021年5月1日 ～ 2022年4月30日
売上高	23,030	27,252	22,975	36,631	40,943
営業利益	5,385	5,705	2,504	6,116	6,880
営業利益率 (%)	23.4	20.9	10.9	16.7	16.8
経常利益	5,345	5,715	2,310	6,104	8,063
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,399	3,539	1,322	3,727	5,586
1株当たり 当期純利益 (円)	59.62	62.65	23.66	67.75	101.54

セグメント情報

《トピックス》

➤国内は各販路それぞれが底堅い売上を計上

- 通販部門・店販部門は総じて堅調
- 直販部門は大きく売上を伸ばした前期には及ばなかったものの、好調を維持

➤海外は中国で更に大きく伸長

- 中国向け販売は売上・利益ともに大きく伸長
- ロシア情勢の業績への影響は僅少

売上高

(百万円)

	第44期 2017年5月1日 ～ 2018年4月30日	第45期 2018年5月1日 ～ 2019年4月30日	第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日	第47期 2020年5月1日 ～ 2021年4月30日	第48期 2021年5月1日 ～ 2022年4月30日
通販部門	3,816	3,383	4,418	4,948	5,202
店販部門	10,058	9,644	6,827	7,605	8,398
直販部門	5,572	5,914	5,844	12,059	11,566
海外部門	3,510	7,545	4,903	10,997	14,522
その他	71	765	981	1,019	1,253
合計	23,030	27,252	22,975	36,631	40,943

営業利益

(百万円)

	第44期 2017年5月1日 ～ 2018年4月30日	第45期 2018年5月1日 ～ 2019年4月30日	第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日	第47期 2020年5月1日 ～ 2021年4月30日	第48期 2021年5月1日 ～ 2022年4月30日
通販部門	1,514	1,407	1,678	1,997	2,132
店販部門	4,460	3,687	2,045	2,003	2,508
直販部門	2,068	2,740	2,131	5,982	5,844
海外部門	1,354	3,353	1,631	3,012	4,385
その他	16	△20	△141	△31	499
調整額 (※)	△4,029	△5,462	△4,840	△6,847	△8,489
合計	5,385	5,705	2,504	6,116	6,880

(※) 調整額は開発部門・管理部門等の全社に共通する費用です。

財務ハイライト

《トピックス》

➤ 棚卸資産が増加

- 世界的な電子部品の供給逼迫に対応し、入手性が悪い部品を中心に先行手配
- 計画的な生産体制を構築して製品の安定供給を図るとともに、原価低減に向けた取り組みを開始

➤ 手許資金を確保

- 中期経営計画達成に向けて、積極的な投資をはじめとする機動的な経営戦略を実行できるよう、一定水準の手許資金を確保

(百万円)

	第44期 2018年4月30日	第45期 2019年4月30日	第46期 2020年4月30日	第47期 2021年4月30日	第48期 2022年4月30日
総資産	16,524	17,959	17,292	25,855	30,552
純資産	11,877	13,072	13,361	16,893	22,093
自己資本比率(%)	71.9	72.8	77.3	65.3	72.3
現預金	10,168	8,133	7,632	12,957	16,649
売上債権	2,580	3,394	3,022	4,000	5,194
棚卸資産	1,408	2,284	2,034	3,692	4,118
仕入債務	1,124	1,414	1,622	2,600	1,870
有利子負債	632	583	534	2,607	1,970

製品カテゴリ情報

《トピックス》

➤ ミーゼブランドが売上を大きく拡大

CM効果もあってブランド認知が高まり、前期から売上を大きく伸長させた

➤ 新製品がヒット

光美容器レイボーテシリーズの日本初の防水VIO対応機種や、フォトスチーマー、超音波トリートメントアイロン「シャインプロ」などの新製品が売上に貢献

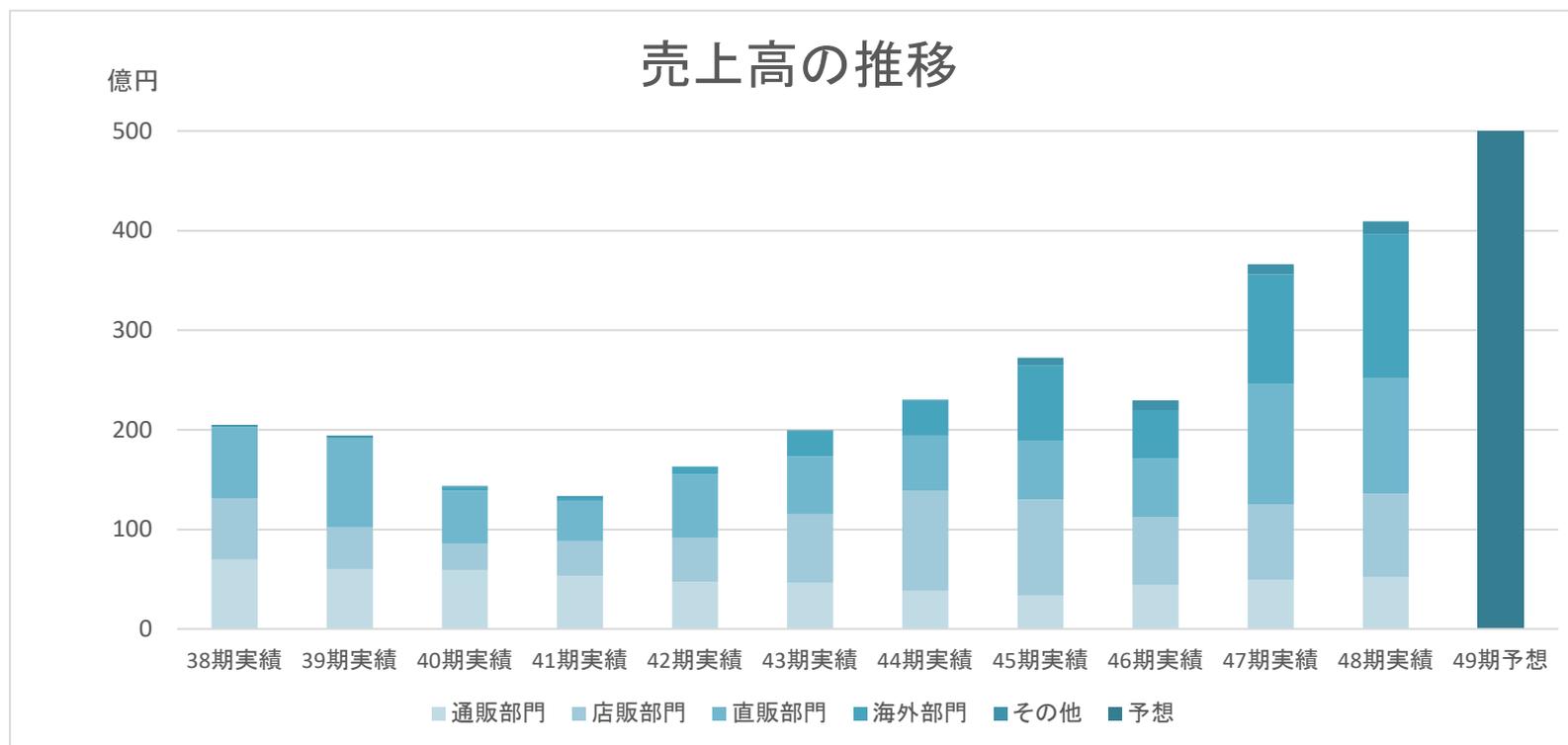
➤ 機能性化粧品は引き続き好調を維持

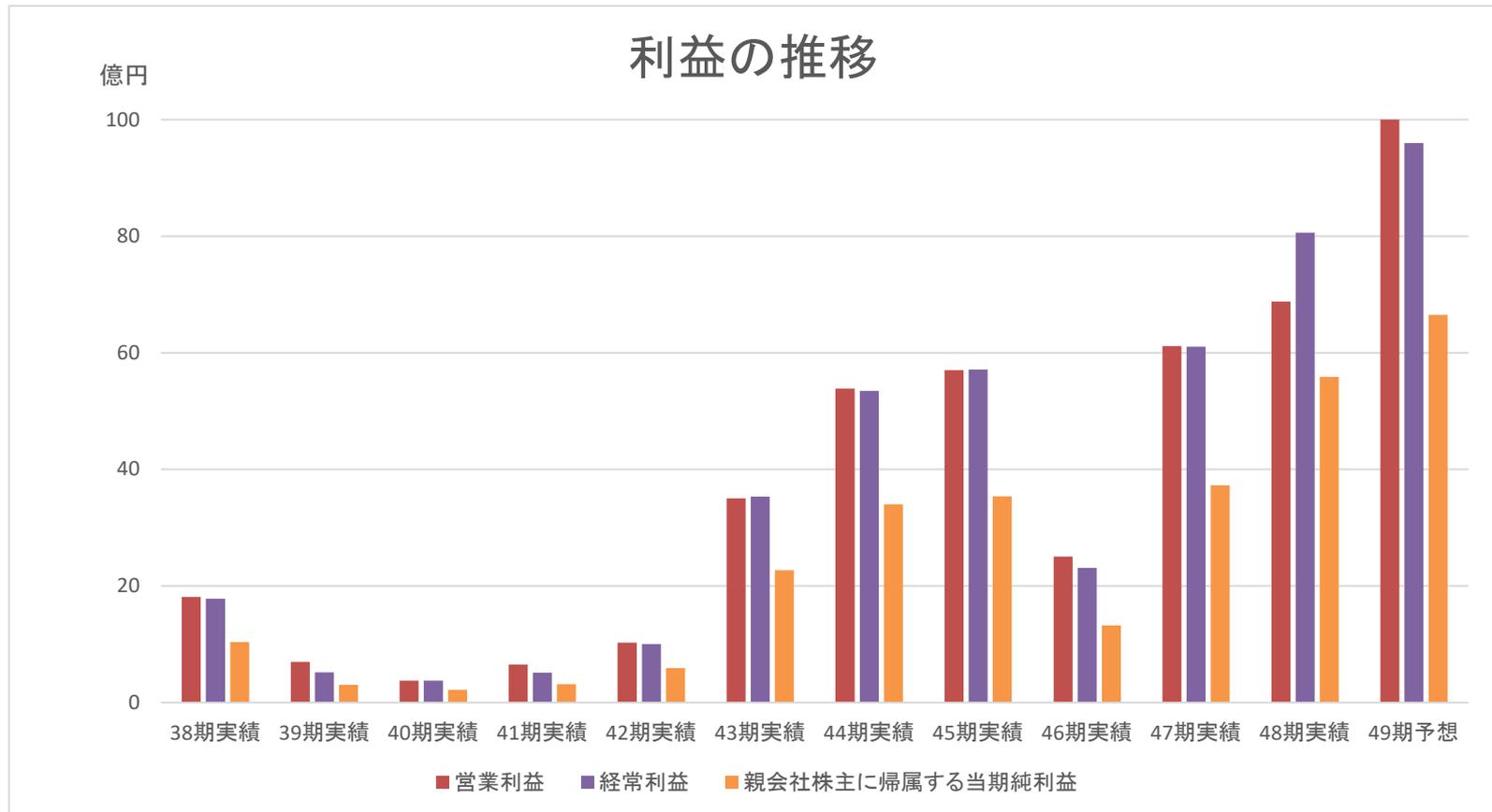
美容機器と併用したり、美容機器との相乗効果を狙った化粧品が好調

業績予想

➤ 通期予想 売上高500億円、営業利益率20%

2020年11月公表の中期経営計画に掲げたこれらの数値目標の実現を目指します





配当政策

➤ 期末配当は普通配当2.0円 + 特別配当4.5円

当初の予想は

中間配当2.0円 + 期末配当2.0円 = 年間配当4.0円

でしたが、この結果、

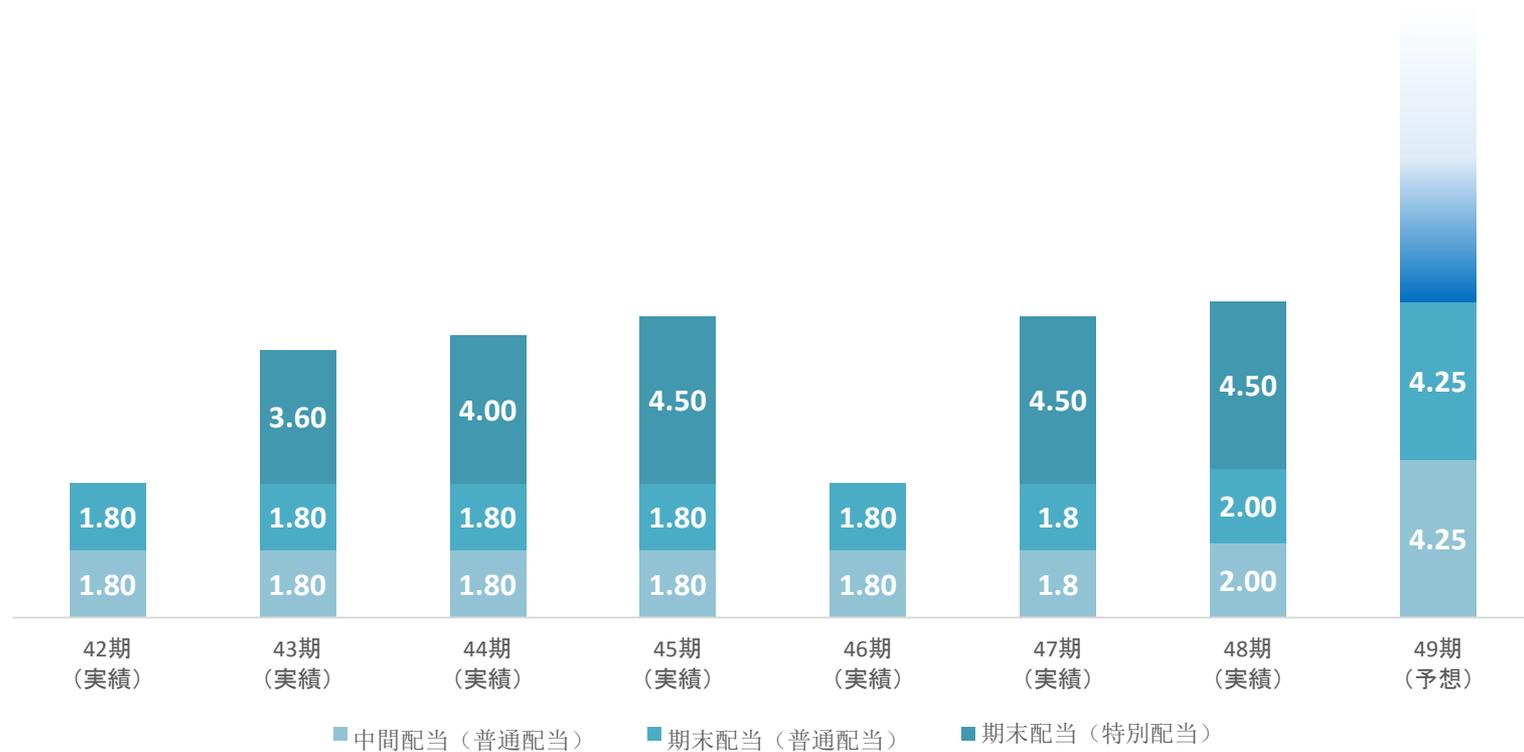
中間配当2.0円 + 期末配当6.5円 = 年間配当8.5円

となりました。

➤ 来期の配当予想は普通配当を底上げ

中間配当4.25円 + 期末配当4.25円 = 年間配当8.5円

例年、通期の業績等を勘案して最終的な金額を決定してまいりましたが、その方針は維持しつつ、来期は普通配当の部分を大きく底上げいたします。



(注) 上記金額は、2017年11月1日付の株式分割の影響を加味したものです。

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。